現代の経済

第6回 地域経済・産業活性化の取組(1) 地域資源の活用

目次

- ・はじめに
- 「身近な自然」を活用
 - ① 徳島県上勝町「葉っぱビジネス」
 - ② 岡山県西粟倉村「森の学校」
- 「身近な建物」を活用
 - ③ 兵庫県丹波篠山市「篠山城下町ホテル NIPPONIA」
 - ④ 大阪府東大阪市「SEKAI HOTEL」
- 「地場産業」を活用
 - ⑤ 岡山県倉敷市「児島ジーンズストリート」
 - ⑥ 兵庫県豊岡市「カバンストリート」

はじめに

第6回以降は、地域経済・産業の活性化に貢献する事業者の取組や活性化に寄与する行政等の取組に目を向けます。

今回は、地域にある様々な資源を活用して経済活性化に取り組む事例を紹介します。

- 1. 身近な自然
- 2. 身近な建物
- 3. 地場産業

なぜ「地域資源」?

- 全国各地で地域特有の資源を活用した経済活性化の取組が行われており、注目に値する
- 地域特有の資源をうまく活用することで、他地域よりも先行して利益を得たり、差別化を図ったりすることが可能となる
- 特定産業に特化した地場産業も地域資源の一つであり、 今回は、その地場産業を活用した事例と身近な自然や建物を活用した事例、合計6事例を紹介する
- ・ここでは詳しく説明しないが、実際には、様々な問題に直面し、それらを解決しながら成果を上げてきた点には注意が必要である(利害関係者との調整や取組に必要な資金の調達など)
 - ⇒ つまり、簡単にマネができるものではない、ということ

地域資源の活用事例

√次の6事例は、いずれも地域外からの需要に対応

1. 身近な自然を活用

- ① 徳島県上勝町「葉っぱビジネス」
- ② 岡山県西粟倉村「森の学校」

2. 身近な建物を活用

- ③ 兵庫県丹波篠山市「篠山城下町ホテル NIPPONIA」
- ④ 大阪府東大阪市「SEKAI HOTEL」

3. 地場産業を活用

- ⑤ 岡山県倉敷市「児島ジーンズストリート」
- ⑥ 兵庫県豊岡市「カバンストリート」

①徳島県上勝町「葉っぱビジネス」

<場所等>

- ✓ 徳島県勝浦郡上勝町
- ✓ 人口1,380名(2020年10月1日現在)、老年人口比率57.9%
 - ⇒ 過疎化と高齢化が進む町

<事業主体>

✓ 株式会社いろどり https://www.irodori.co.jp/

<事業内容等>

- ✓ 町内の至る所にある山の季節の葉、花、山菜等を和食の 飾り「つまもの」として料亭などに販売
- ✓ 1986年、当時農協職員だった横石知二氏(現・代表取締役社長)が取組に「彩(いろどり)」と名づけてスタート
- ✓「つまもの」の種類は300以上あり、一年を通して様々な 葉っぱを出荷

<事業内容等(続き)>

- ✓ 商品が軽量で、高齢の女性を中心とする約150軒の農家が取り組む
- ✓ 株式会社いろどりが「上勝情報ネットワーク」を通じて受 注などの情報を農家へ発信
- ✓ 農家はパソコンやタブレット端末で受注情報を見て、出荷できる「つまもの」を入力(早い者勝ち)
- ✓ 年商は約2億円(年間売上が1000万円を超える農家も)✓ 各農家の売上順位が分かるシステムになっており、農家
- ✓ 各農家の売上順位が分かるシステムになっており、農家 のやる気を刺激
- ✓ 高齢農家は、年金に加えて所得が得られるようになっただけでなく、畑や山を動き回ることで足腰が強くなり、健康維持、寝たきり予防、認知症予防にもつながった
- ✓ 代表の横石氏は、農協や料亭などを巡り、流通ルートや 顧客の開拓に励み、ニーズを掴み、売り先を広げて、ビジ ネスを発展させてきた

【参考資料①】

ビジどこ[NTTドコモ公式チャンネル](2013年12月10日)

「明日へのSTORY」 徳島県 上勝町 いろどり様(葉っぱビジネス)

https://www.youtube.com/watch?v=CfCnLPar6ao

地域活性化100(2018年1月9日)

徳島県・上勝町・株式会社いろどり

https://www.youtube.com/watch?v=mLdYSgBLKkM

②岡山県西粟倉村「森の学校」

<場所等>

- ✓ 岡山県英田郡西粟倉村
- ✓ 人口1,398名(2020年10月1日現在)、老年人口比率35.4%
 - ⇒ 過疎化と高齢化が進む町

<取組の経緯>

- ✓ 村の95%は森林で、そのうち84%が人工林
- ✓ 高度成長期に、将来の子どもや孫のために一斉に植えられた杉・檜は、その後、林業が衰退し、過疎化が進むなかで間伐が行われなくなった
- ✓ 2008年、村役場を中心として、この森林を立派な「百年の森林」に育て上げていく取組がスタート
- ✓ 森の再生を通じた地域経済の活性化を目的として、2009 年10月、地域の資源を価値にする企業が設立された

<事業主体>

✓ 株式会社エーゼログループ 西粟倉森の学校 https://morinogakko.jp/

<事業内容等>

- ✓ 2010年10月、人工林の間伐材の加工工場を設立し、原木の調達から製材、乾燥、加工、販売までの機能を担う
- ✓ 個人向けDIY製品の開発や販売、住宅用の内装材や大型建築物の材料の供給などを行う
- √ 従業員数(木材事業部) 22名(2023年4月現在、HPより)
- ✓ 2022年3月、可能性発掘基地をテーマにした複合施設「BASE101% NISHIAWAKURA」をOPEN
 - ジビエや産直野菜たっぷりのランチを提供するレストラン
 - 自社栽培いちご、特産品を生かしたスイーツを提供するカフェ
 - 5種類の完熟いちごを食べ比べできるいちご摘み体験
 - DIY用アウトレット木材販売やオリジナル製品の展示販売
 - 村のクラフト作家や独自セレクトした商品の販売

【参考資料②】

地域づくりTV(2020年2月3日)

大切な人たちと分かち合う上質な田舎づくり ~百年の森林構想~(岡山県西粟倉村)

https://www.youtube.com/watch?v=bQSWEVDgFbA&t

KSB瀬戸内海放送(2021年3月24日)

人口の約1割が移住者 岡山・西粟倉村で見つけた田舎暮らしの魅力とは

https://www.youtube.com/watch?v=lax6yKc-Myk

KSB瀬戸内海放送(2022年4月29日)

森と暮らす村に新スポット 木くずを活用し栽培したイチゴなど満喫 岡山・西粟倉村

https://www.youtube.com/watch?v=dsQzK59Tctc

③兵庫県丹波篠山市 「篠山城下町ホテル NIPPONIA」

<事業主体>

- ✓ 一般社団法人ノオト、株式会社NOTE https://nipponia.or.jp/
- <事業内容等>
- ✓ 篠山城下町全体を「ひとつのホテル」に見立て、点在している築100年超の古民家の空家を、歴史性を尊重しながら客室・飲食店・店舗として再生し、篠山の文化や歴史を実感できる宿泊施設として、2015年10月にオープン
- ✓ 地域の豊かな食材を使った創作フレンチ、既存の歴史施設・飲食店・店舗などと連携した歴史的城下町のまち歩きなど、「歴史あるまちに、とけこむように泊まる」ことをコンセプトとして、まち全体の利益が向上することを目指す
- ✓ 他地域にも展開中(32地域166棟227室[2024年6月現在])

【参考資料③一1】

観光

活用自治体 兵庫県、養父市

古民家等の歴史的建築物に関する旅館業法の適用除外

概要

規制緩和前

旅館業法により、宿泊施設一棟ごとに、フロントの設置が求められており、古民家らしさを活かした宿泊施設運営が難しかった

規制緩和後

ー棟ごとのフロント設置義務 を緩和し、フロントを集約する ことが可能となり、古民家の宿 泊施設としての活用を後押し

(平成26年3月~)

イメージ 丹波篠山市の古民家宿泊施設「NIPPONIA」





定量効果

令和元年度の宿泊者数

約 2,850



令和元年度の売上高

12,137

万円



定量効果算出の考え方: ・ 宿泊者数売上高ともに兵庫県(丹波篠山市) 養父市の合計値。

関係者の声



規制緩和に向けた取組と流れ

背景

- 空き家化や老朽化が進み、維持できず失われる古民家が増える中で、日本の伝統文化、地域の風情を色濃く残す古民家を、宿泊施設として活用し、国内外の観光客の呼び込み、日本文化の発信などに役立てる動きが各地で活発化。
- ■しかし、各宿泊施設、すなわち古民家ごとへのフロント設置義務などの規制が実現の障害に。

規制緩和 に向けた 検討

- 丹波篠山市では、自治体と古民家再生の実績を持つ事業者が中心となり、城下町エリアや集落に点在する複数の古民家を一つの宿泊施設に見立て、観光客が地域の文化や歴史を実感できる構想について、地域住民とともに協議。
- フロントの集約による経営効率化の効果や、宿泊客への緊急時対応などの安全対策、資金面の課題などについて検討。

棟ごとにフロントの設置を求める旅館業法の規制が、コスト面や、古民家らしさを活かしたサービス面で、古民家の宿泊施設化のハードルの一つに。

尼尼金三夫

規制緩和の内容

ビデオカメラの各棟への設置や、複数の古民家施設から緊急時に内線電話を受けるなど安全確保対策を実施。

事業の立ち上げに際し、ファンドや市の補助金の活用など、 初期費用に係る資金調達を工夫。

特区に限定し、条例で指定された古民家については、 ビデオカメラの設置など一定の要件の下、古民家各棟への フロント設置義務を緩和!

成果

- 国内外からの観光客の増加、飲食や地場産品の販売などと一体となった地域活性化の 促進とともに、空き家問題の解消なども前進。
- 本特例措置については、平成30年6月に旅館業法施行令・施行規則が改正され、 全国措置化。

資料: 内閣府国家戦略特区ホームページ

【参考資料3-2】

VISUALTRIP JAPAN(2015年10月28日)

Making of「篠山城下町ホテル NIPPONIA」

https://www.youtube.com/watch?v=BAQ2Gt608z4&t

4大阪府東大阪市「SEKAI HOTEL」

<事業主体>

✓ SEKAI HOTEL株式会社 https://www.sekaihotel.jp/

<事業内容等>

- ✓ 大阪市此花区西九条にある老朽空家をリノベーションして宿泊施設として2017年6月にオープン
- ✓ フロントや客室、飲食、大浴場などの機能をまち全体に分散させた"まちごとホテル"として運営
- ✓ 宿泊施設は、大阪市此花区西九条に13軒(現在、操業自粛中)、東大阪市布施に7軒、富山県高岡市に1軒
- ✓ 外国人観光客が求めている日本人のOrdinary(日常)を 体感できる場を提供(西九条エリア)
- ✓ 近隣にある喫茶店での朝食や銭湯の利用券をサービス (近隣店舗の活性化にも貢献)

【参考資料40-1】

クジラ株式会社 (SEKAI HOTEL株式会社の親会社)

- 代表取締役: 矢野浩一
- 場所選び(不動産)、設計(デザイン)、施工(建築)、すべての機能を 社内に備える ⇒ コストダウン可、担当者間の情報共有がスムーズ

https://kujira.ltd/

ANN NEWS(2023年7月22日放送)

"商店街まるごとホテル"心の交流 奇跡の出会いも…若者中心に月300人以上が訪問【Jの追跡】

https://www.youtube.com/watch?v=brImkBbSwig

BS-TBS Bizスクエア(2023年3月4日放送)

昭和レトロ体感 商店街まるごとホテル~空き店舗リノベで地域の魅力発信~

https://www.youtube.com/watch?v=47YNgSHZgLU

【参考資料40-2】

インターネットTV局カウテレビジョントップリーダー対談(2019年6月20日)

SEKAI HOTEL(1)空き家をリノベ、街ごとホテルに 大阪発ベンチャーの挑戦 https://www.youtube.com/watch?v=44gBBqJXKTI&t

SEKAI HOTEL(2) SEKAI HOTELが選ぶ「エリア」と「物件」の条件とは https://www.youtube.com/watch?v=CerJWm2gizU

SEKAI HOTEL(3)カッコイイ大人の定義とは?学生に伝える労働観や報酬観 https://www.youtube.com/watch?v=IGIo5BGbL3c

SEKAI HOTEL(4)学校では教えてくれない 社会で必要な3つの能力 https://www.youtube.com/watch?v=dE1E5Lg-BQw

SEKAI HOTEL(5)これからも存続する 企業の条件とは https://www.youtube.com/watch?v=lwg8AH_SgAc

「地場産業」とは

岩波書店『広辞苑』

√特定の自然的・歴史的条件をもつ土地において、地元資本が伝統的な技術と地元の労働力により、特産品を製造する産業。瀬戸の陶磁器、今治のタオルなど。

山崎充(1977)『日本の地場産業』 ダイヤモンド社

- √次の5つの特性を備えた産業を「地場産業」と定義
 - 1. 特定の地域に起こった時期が古い。
 - 2. 特定の地域に同一業種の中小零細企業が地域的企業集団を 形成して集中立地している。
 - 3. 多くの地場産業の生産,販売構造がいわゆる社会的分業体制
 - 4. ほかの地域ではあまり産出しない、その地域独自の「特産品」 を生産している。
 - 5. 市場を広く全国や海外に求めて製品を販売している。

⑤岡山県倉敷市「児島ジーンズストリート」

<事業主体>

- ✓ 児島ジーンズストリート協同組合 http://jeans-street.com/
- <事業内容等>
- ✓ 児島地区は、明治時代から「繊維の町」として知られ、 1960年代に国内で最初にジーンズ生産を手掛けたことで 有名
- ✓ ジーンズの生産地であるが、ジーンズを購入できる店や 観光できる場所がなかったため、2009年に「児嶋ジーン ズストリート構想」を策定
- ✓ 地元メーカーや児島商工会議所等で構成する協議会(後に協同組合)は、児島地区でかつて最も栄えていた味野商店街内の空き店舗に、ジーンズ関連などの30店舗以上を誘致し、「日本のジーンズの聖地」として売り出した

【参考資料⑤】

山陽新聞デジタル【さんデジ】(2019年5月31日)

備中ひと・風・景~高梁川流域百選(68) 児島ジーンズストリート(倉敷市児島味野)

https://www.youtube.com/watch?v=uoYoP1F-vS0

⑥兵庫県豊岡市「カバンストリート」

<事業主体>

✓ 鞄産業と宵田商店街 https://www.cabanst.com/

<事業内容等>

- ✓ 兵庫県豊岡市は、市内に180社以上の鞄関連の企業が 立地し、国産鞄の約7割を製造する国内最大の生産地
- ✓ 2005年3月、地場産業と商店街の活性化を目的として、鞄 産業と宵田商店街が協力して「カバンストリート」が誕生
- ✓ 約30店舗が軒を連ね(うち16店舗が鞄関連[新規出店もあり])、 豊岡の観光スポットの一つとなっている
- ✓ 2013年4月、鞄に特化した拠点施設「Toyooka KABAN Artisan Avenue」がオープン
- ✓ この施設内にある鞄の専門校では、1年間で、1枚のラフスケッチから一人で1本の鞄を製造できる職人を養成

Toyooka Kaban Artisan School 授業料年間138万円のヒミツ

http://www.artisanschool.net/

- 1. 段階的に技術レベルが上昇するカリキュラム(初心者でも安心)
- 2. 延べ授業時間は、年間1,380時間となるので、カバン漬けの毎日。 (通常の専門学校では多くても800時間程度)
- 3. 講師は、大手鞄メーカー中国工場設立や縫製の社員教育を担当。
- 4. 生徒は13名までの少数精鋭。
- 5. 設備面が充実 (「平ミシン」は一人で 1 台占有して使用。CAD講座も開設)
- 6. 課題製作に伴う教材費負担なし。工具も1年間無償貸与。 (自己負担の学校が多い)
- 7. 工場見学、合同企業説明会、インターン派遣等、産地内でのキャリアサポートが充実(就活支援)
- 8. 「革の展示会」や製革業者の見学など課外研修も充実
- 9. 生地や革等の材料提供、工場見学やインターンの受入など、地元企業の多大な支援
- 10. 通常、外注するハンドル(取っ手)も自分で製作
- その他、諸々、日本一の産地ならではのメリットがあります。

【参考資料6】

サンテレビ(2021年9月12日)

「ひょうご発信!」ひょうごトピッ!かばんのまち・豊岡市!

https://www.youtube.com/watch?v=UGnhL0_Z-MA

※カバンストリートの紹介は「3分33秒」から

地域経済・産業の活性化事例 その他の事例を探してみよう!

▶参考資料1

内閣官房・内閣府総合サイト「地方創生」事例紹介ページ

※都道府県別、カテゴリ別(「しごと づくり」「観光・その他」など)に 取組の検索が可能

https://www.chisou.go.jp/sousei/case/index.html

- ⇒ 紹介あり ② 岡山県西粟倉村「森の学校」
 - ③ 兵庫県丹波篠山市「篠山城下町ホテル NIPPONIA」
 - ⑤ 岡山県倉敷市「児島ジーンズストリート」
 - ⑥ 兵庫県豊岡市「カバンストリート」

>参考資料2

中小企業庁「地域活性化100」(平成27年2月)

http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H27/PDF/150617jirei1.pdf

⇒ 紹介あり ① 徳島県上勝町「葉っぱビジネス」